

いつも心に長崎を 第13号

2026 夏の感動あれこれ

運動不足そして感動不足に注意するよう呼びかけて突入した 2026 年の夏休み。私自身そして生徒から寄せられたこの夏の感動体験を紹介します。

私は、休暇中に訪れた奈良の東大寺大仏殿で一つの灯籠に出会いました。長崎が精霊流しで賑やかな 8 月 15 日の夜、大仏殿では 2500 もの灯籠に明かりが灯され、幻想的な光景が広がります。多くの灯籠には全国から寄せられた「先祖代々供養」「家内安全」「心願成就」といった大仏様への願いごとが書かれているのですが、私が出会った灯籠には「**見守っていただきありがとうございます**」と書いてありました。この言葉の依頼主は沖縄の方でしたが、沖縄から奈良の大仏様へ「お願い」ができるまたとない機会に、「感謝」を伝える。この方の心の在り方に強く感動し、私も感謝を大切にできる人でありたいと思いました。同時に、校長としての見守りもしっかり行おうという思いを強くしました。



生徒から寄せられた数々の感動体験を抜粋して紹介します。

- 映画(アニメ、特撮、大作の続編 などなど) ○24 時間テレビで泣いた
- おいしいもの(高級焼肉、羊羹、ホッケ、塩パン などなど) ○V ファーレンの勝利
- 旅行での景色や体験(京都のお寺でお経を読んだ。生月の自然。北九州のモノレール。太宰府天満宮。きれいな海。TDL に USJ。田んぼが広がる島原の景色。大分由布岳。熊本で見た日の出と、被災地の人々が協力している姿。みなとまつりなどの花火 などなど)
- 部活動(初試合で 13 点とれた。ベスト 16 に入った。勝利をつかんだ瞬間 などなど)
- 塾の模試で点数が大幅アップ ○社会の用語を覚えた
- おじいちゃんの「喜寿祝い」のときに、初めて人前で弾き語りをしたこと
- 平和祈念式典。鈴木市長が「原爆は必要悪ではなく絶対悪」と言い切ってくれたこと
- 新幹線で窓側を予約していた自分が座るのを通路側の人を立て待っていてくれたこと
- いとこ・親戚の成長した姿 ○墓そうじをがんばった ○バレー中継と選手の涙
- 精霊流し。笑顔で送る姿や観光客の多さ ○大勢の人の前で踊って楽しさを実感した
- 親にお礼を言われたこと ○近所のおじいさんがうちの周りも掃除してくれていた
- 母から「去年のお盆にお母さんのお墓参りに行ったら、三日間連続で肩にカナブンがついたり追いかけられたりした」「お父さんの墓参りに行ったら、駐車場が自分しかなくてカラスがずっと鳴いてたから「お父さん？」って聞いたらこっち見て鳴きやんだ」という話を聞いて、やっぱり見守ってくれているんだと思って自分も泣きそうになった。 ○人の優しさ
- 受験生の生活を味わったこと。自分がここまで勉強できるのかと思った。

特別なイベントや出会いでの感動に加え、「**毎日勉強や部活を頑張りました**」というコメントもありました。この夏の時間(=命)を大切にしている姿が思い浮かび、大変嬉しく思いました。